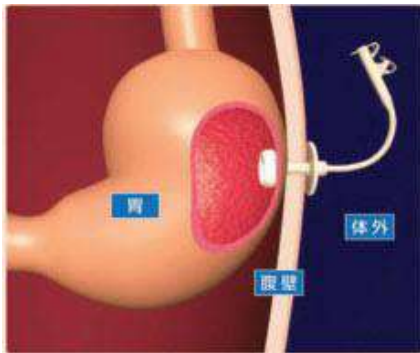




# 胃ろう・GJチューブの管理 No.1

## 胃瘻とは



口から食事が摂れなくなったり、飲み込む力が弱くなった時にお腹から胃にかけて造る小さな穴のことを胃瘻と言います。専用のチューブを使用して胃に栄養や水分、薬などを入れることができます。

### ※減圧胃瘻

減圧とは、胃や腸の動きが悪くなって胃が大きく膨らんで圧が上がって苦しくなった時に、胃内にたまった空気や消化液を抜くことを言います。注入の前後に胃内を減圧する目的でおこなう場合もあります。

## 胃瘻チューブの種類

胃瘻チューブは、それぞれの形状や構造により4つのタイプに分けられます。どのタイプを使用しているのか確認しておきましょう。

	チューブ型	ボタン型
	利点：管理しやすい 難点：事故（自己）抜去しやすい 汚れやすい 閉塞のリスクが高い	利点：事故（自己）抜去しにくい 汚れにくい 閉塞のリスクが低い 難点：管理が多少、難しい
<b>バルーン型</b> 交換時期：1～2か月ごと 利点：交換しやすい 難点：抜けやすい	バルーン・チューブ型 	バルーン・ボタン型 
<b>バンパー型</b> 交換時期：4～6か月ごと 利点：抜けにくい 難点：交換が多少、難しい	バンパー・チューブ型 	バンパー・ボタン型 

- ①チューブの名前（種類）は  です。
- ②チューブの太さは  Frです。
- ③チューブの長さは  cmです。
- ④バルーン固定水の量は  mlです。



## GJチューブとは

胃瘻の穴から、少し先の十二指腸までチューブを通し、胃内の減圧と十二指腸に直接栄養を送るチューブのこと。2本のチューブが1本になっていて、出口は2つ。1つは胃に、もう1つは十二指腸に向けて出ていくようになっているもので胃瘻の穴からチューブが出ている状態になります。

GJチューブの交換は、放射線透視下でチューブの位置を確認しながらおこなう必要があります。抜けているようならすぐに病院に連絡をしましょう



十二指腸の穴



## 栄養剤の注入について

★基本的には経鼻胃管栄養と同じです。

- 栄養剤（医師から指示されたもの）
- カテーテルジョイント
- ジェイフィード栄養ボトル
- 注入に適した接続チューブ（下記参照）
- ジェイフィード注射器
- ぬるま湯（白湯）

- ①姿勢、体調（体温・脈拍・血圧・痰がらみなど）、お腹の張りに変わったことはないか、胃瘻チューブに異常はないかを確認します。
- ②栄養剤の容器、栄養ライン、接続チューブと胃瘻チューブを確実に接続します。
- ③投与前にぬるま湯を通してチューブ内を流した後指示された速度・方法で投与します。体調や滴下速度に異常がないか、栄養剤が漏れていないかなど時々確認しましょう。
- ④投与が終わったらぬるま湯を通します。
- ⑤注入器具を洗い、清潔に管理します。必要に応じミルトン液などに浸して消毒します。汚れがひどい時は、新品と交換しましょう。



## 接続チューブの使い分け

MIC直角接続チューブ



- ◆ 液体栄養剤の投与に向いています
- ◆ 長時間投与に向いています

半固形化栄養剤（食）やミキサー食を投与する時は、投与しやすい粘度（固さ）に調節しましょう。



MICポーラスストレート接続チューブ



- ◆ 半固形化栄養剤やミキサー食の投与に向いています
- ◆ 短時間（手押し）投与に向いています
- ◆ 減圧の時はこちらを使います



## 胃瘻の交換について

胃瘻チューブは定期的な交換が必要です。古いチューブを抜き、新しいチューブを医師が交換します。病院（胃瘻外来や病棟）・在宅等、どこで交換をするか事前に相談をしておきましょう。

### MIC-KEYバルーンボタン

バルーン・ボタン型 交換用胃瘻チューブ



『こんな時は医師・看護師に相談しましょう』

- ・チューブとお腹の間に隙間がない
- ・チューブを回すと抵抗があったり回せない
- ・栄養剤や水が入っていない

## 日々の管理のポイント

胃瘻周囲の皮膚の清潔、胃瘻チューブ挿入部の観察を行い感染やチューブ抜去を予防しましょう

### ➤ 理想のスキンケアは入浴

入浴する時は胃瘻はビニールで覆うなどの必要はありません。そのまま湯船に浸かれます。お腹の中に水やばい菌が入ることはありません。入浴後はしっかり乾燥させましょう。

### ➤ 入浴できない時は「洗浄」

弱酸性の石鹸を使ってしっかり泡立てて、胃瘻挿入部から胃瘻周囲をやさしく洗ってきれいにふき取りましょう。

### ➤ 少量の漏れにはティッシュペーパーのこより

胃瘻部に発赤や浸出液がなければ、Yガーゼは使用しなくてもかまいません。漏れが少しある場合はティッシュペーパー1枚の半分でこよりを作って胃瘻周囲に巻きます。ガーゼに比べて乾きやすく衛生的です。汚れてきたらまめに交換しましょう。

### ➤ 胃瘻チューブの管理

胃瘻チューブは胃内のバルーンが胃壁に密着したままになると胃壁に埋没したり、潰瘍を作ったりしてしまふことがあります。毎日1回以上“くるくる”回しましょう。また数回上下に“スポスポ”と動かしましょう。チューブとお腹との間に余裕はありますか？皮膚との間は、1~2cmの“あそび”があるのが理想的です。

### ➤ バルーン固定水の確認

固定水はある程度自然に減少しますが、固定水が抜けるとバルーンがしぼんでチューブが抜ける原因にもなります。定期的に確認を行いましょう。

### ➤ 注入用具の清潔管理

栄養剤や薬剤投与の前後にはぬるま湯を通してチューブの内側についた汚れを洗い流しましょう。取り外せる物は中性洗剤で洗い、よくすすいで乾燥させましょう



GJチューブの管理では1%重曹水をフラッシュしたり、充填してつまりを予防したりしています。重曹水の作り方は栄養科のスタッフから指導してもらうことができます。

胃瘻チューブが回らない、抵抗がある、隙間がない、亀裂・破損・変形があるというような時は、医師や看護師に相談しましょう。

トラブル時の対応

カテーテルのトラブル

【自己または事故抜去】

カテーテルを自分で抜く、あるいは何らかの原因で抜けてしまうことです。

原因：カテーテルを引っ張ってしまったり、何かにひっかかって起こります。

予防：チューブ型の場合は医師に相談してボタン型への変更を検討してもらいましょう。

おむつ交換や入浴介助などの際はカテーテルがひっかからないように注意しましょう。

使用時以外は服の中にしまうなどの配慮が必要です。

発生時の処置：

胃瘻部をタオル等で覆い（汚れ防止）、病院に連絡し早めに受診してください。

【胃瘻チューブの閉塞】

カテーテルの内部が詰まってしまうことです。

原因：栄養剤の濃度が濃すぎたり、お薬が多いと詰まりやすくなります。

予防：栄養剤注入後は、チューブ内を必ずぬるま湯で流しましょう。

発生時の処置：

水またはぬるま湯を満たした注入用注射器をつなぎ、カテーテルを指でしごいたり、

マッサージしながら詰まりが取れるまでゆっくり注射器の内筒を動かします。

詰まりが改善しない場合、交換の必要があるため病院に連絡をしましょう。

【カテーテルの注入口の弛緩・破損】

「カテーテルの注入口が甘くなる」「蓋や接続が外れやすくなる」「漏れがある」などです。

発生時の処置：

交換の必要があるため病院に連絡をしましょう。

【チューブ型の胃瘻（GJチューブ）が短くなっていたら…】

ボールバルブシンドロームが生じている可能性があります。病院に連絡をして医師に相談しましょう。



【ボールバルブシンドロームとは】

バルーンが胃の動きによって運ばれて、十二指腸を塞いでしまうことがあります。こまめに長さ（チューブの目盛り）を確認するようにしましょう。

【お腹が張って苦しい時は？】

医師の指示のもと胃内のガスなどを減圧します。残留物が多く出てくるときには、胃の消化機能が低下しているか可能性があるため、次の投与時間をずらすこともあります。医師や看護師に相談しましょう。

ボタン型  
フィーディングポートにストレート  
型のチューブをつなぐ

チューブ型  
フィーディングポートの蓋を開ける

それぞれのチューブの先端を、容器に受ける

- 減圧した時の消化液が皮膚につくとかぶれの原因になるので、清潔に保ちましょう。
- 減圧の時間が長い時は、内容物の重みでチューブが一方向に傾きがちです。胃瘻の一部分だけに圧がかからないよう、胃瘻チューブの向きや固定の位置を変えましょう。
- 閉塞予防のため、減圧の前後はチューブにぬるま湯を通しましょう。



術後から初回交換までの胃ろうチューブ管理

胃ろうの手術をしてから1ヵ月は創部の安静を保つため、バルーン・チューブ型の胃ろうを使用します。手術後は胃ろうの周囲が赤くなったり、腫れたり、創部から出血したりと様々なトラブルが起こりやすい状態です。創部を保護したり、一定の圧をかけないようにするために、毎日しっかりとチューブの固定をする必要があります。

- 胃ろうからの出血はありませんか？
- 浸出液は出ていますか？  
(匂いが強い・長期間浸出液が出ている)
- 胃ろうのチューブの位置はずれていませんか？



必要物品

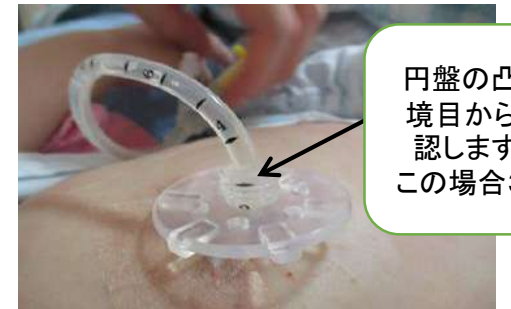
- Yガーゼ
- 俵(ガーゼなどで作成)
- 固定用のテープ

手順

① 胃ろうの円盤上の長さを確認します。もし長さがずれた場合は、病院にご連絡ください

あなたの胃ろうの長さは円盤上の凸から( )cmです

- ② 円盤の下にYガーゼを挟み、円盤ごとテープで固定します。
- ③ ガーゼなどを丸めて作った俵をYガーゼの上に置きます。その時にチューブと体が垂直になるようにします。
- ④ まず俵が動かないように、テープで俵を固定します。この時皮膚を引っ張らないように俵ガーゼやチューブに沿わせてテープを貼ります。
- ⑤ チューブを俵に固定します。



円盤の凸の境目から確認します。この場合3cm



お風呂に入って(もしくは洗浄)清潔を保ちましょう！  
俵ガーゼやYガーゼをはずして、こすらないように泡で優しく洗います。  
入浴後はまた同じように固定してくださいね♪



何かお困りのことがございましたら、かかりつけ医か当院外来にご相談下さい。